

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2017年度 パフォーマンス向上会議情報(2017年11月30日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2017年11月30日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【クローラクレーン旋回時における工事車両との接触について】 1号機タービン建屋北東エリアでの1号機原子炉建屋カバー解体工事において、750トンクローラクレーンを旋回させた際、当該クレーンの一部(カウンターウエイト)が工事車両(人は乗っていなかった)に接触した。なお、人身および設備への影響はなかった。 原因は、クレーンの旋回範囲内に工事車両が駐車していたことによるものであった。今後、監視の適正化を図る。	GⅢ